

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

南九州あんしんの家

グループの名称

南九州あんしんの家づくりグループ

直近採択グループ番号

06-0059-0690

(グループ代表者)

代表者名	岩永 昭	代表者印
代表者所属先	九州ハウジング株式会社	
代表者所在地	福岡県みやま市山川町真弓22番地の2	
代表者電話番号	09-4467-0121	

(グループ事務局)

事務局事業者名	九州ハウジング株式会社	
事務局担当者名	中野 力	印
事務局郵便番号	835-0111	
事務局所在地	福岡県みやま市山川町真弓22番地の2	
事務局電話番号	0926-31-3772	
事務局FAX	0926-43-0994	
事務局担当者E-mail	r.nakano@kyu-hou.co.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		25	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	25	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		16	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	16	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	補助対象戸数の配分については、経験工務店・未経験工務店を問わず先着順で申し込み受け付けを行う。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	22	戸	交付申請戸数	16	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	16	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	5	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南九州あんしんの家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県、宮崎県、鹿児島県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県等
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 南九州あんしんの家づくりグループ	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0059-0690	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	■台風対策 ■床下の湿気対策並びに防蟻対策	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	■標準仕様として、ベタ基礎とする。 ■主要な開口部に対し雨戸やシャッターの設置等、台風対策を行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	■雨漏り対策に有効な切妻屋根を推奨する。 ■方位により、ガラスの仕様(遮蔽型、取得型)を考慮して選択し、カーテンやブラインド等も活用する。 ■省エネルギーにつながる設備等を1つは設置する。	○
④①～③の背景	■南九州地方は、台風の被害がでることがある。加えて年間の降水量も非常に多く、雨漏りのリスクが高い地域である。 ■年間を通して高温多湿の気候であり、シロアリの被害も多く発生する地域である。 ■ゼロエネルギー住宅(ZEH)の普及に伴い、地域の気候に伴う住宅の仕様を検討を行う事業者がみられる。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	■光熱費の低減・一次エネルギー消費量削減等の省エネ観点から、太陽光やHEMSの導入を推奨する。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ■標準仕様として、ベタ基礎とする。	◎
②-1 建材・資材調達 の共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ■プレカット事業者を集約する事で、木材の仕入れ・供給を一括管理する。	◎
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ■施工構成員に対し、地域材の供給量を管理する事で、事業の円滑な運営と明確な出荷証明書等の発行を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: ■瓦を使用する場合は、全数釘打ちとする。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ■第三者検査機関が行う、防水下地検査を推奨する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ■住宅の施工期間中または竣工時に、消費者を対象とした現場見学会を開催する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: ■グループ構成員について、週休2日制の導入を推奨している。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: ■技能や経験に見合った処遇を受けられるように努めている。	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: ■社会保険の加入について、コンプライアンスを遵守している。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: ■構成員ごとに、職場・現場での安全管理・現場管理を行っている。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	「地域型住宅」や「南九州あんしんの家」の記載を入れた「のぼり」を建築現場に設置する事で、構成員のブランド意識向上やエンドユーザーに対する信頼向上に努める。 平成28年度からゼロエネルギー住宅ではBELS認証必須とした。消費者への信頼性向上に向けた取り組みも積極的におこなっていく。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南九州あんしんの家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県、宮崎県、鹿児島県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県等
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南九州あんしんの家づくりグループ	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0059-0690	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■第三者機関による住宅履歴情報サービスへの登録を必須とし、蓄積保管を義務付ける。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■九州住宅保証株式会社「あんしんの家」等の第三者機関を推奨する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■実績報告時に住宅履歴預り証の写しの提出を必須とする。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■長期優良住宅では、定期点検の時期を「1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年」と定めて実施する。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■実績報告時に定期点検を指定期間に実施することの確認書の提出を必須とする。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■住宅引渡し時に事業者からエンドユーザーへ、「日常住まいの管理とお手入れ」が重要である事の説明を義務とする。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■実績報告時に「日常住まいの管理とお手入れ」の説明確認書の提出を必須とする。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■グループ事務局が、必要に応じて近隣の施工構成員の中から、選定・手配を行う。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		■第三者機関による“住宅完成補償”への加入を促す。 ■グループ事務局として、株式会社住宅あんしん保証の“住宅完成保証制度”を推奨している。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■グループ事務局内に相談窓口を設置し、経験・未経験を問わず技術サポートを行う。 ■要望に応じて、グループルール説明会を実施する。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■遠隔地の構成員が多いので、メールや電話での相談を随時受け付ける。 ■グループルールのマニュアルを作成し、配布する。	◎	
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 29 今年度の参加目標人数 25	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 28 今年度の参加目標人数 25	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■施工、設計構成員へ情報発信し、職人(大工等)へ呼び掛けてもらう事で、より多くの人に講習への参加を促す。H25以降の講習会修了者が要件であることを周知する。	○	
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		■第三者機関による“住宅完成補償”への加入を促す。 ■グループ事務局が外皮性能、一次エネルギー計算のサポートを行うことで受注増加に繋げる。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南九州あんしんの家	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県、宮崎県、鹿児島県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県等													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南九州あんしんの家づくりグループ	(結成年) 2012年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0059-0690														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	地域材利用に関する														
①	共通 ルール(必須)	・合法木材の九州地域材・ペイマツ材を主要構造材(土台・柱・梁・桁)に使用する。 ・九州地域材及びペイマツ材の使用量は、主要構造材(土台・柱・梁・桁)に対して、50%を超えるものとする。	◎												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>・南九州地方は、スギ素材生産において全国の生産量の34%(農林水産省「平成22年木材統計」より)を占めている。九州における木材自給率の更なる向上が見込める地域である為、県産材に拘らずに広く九州全域の木材利用が期待できる。但し、大スパン大断面においては、国産スギ材では強度に不安が在る為、ペイマツ材を採用した。</p> <p>○合法木材証明書および納品証明書 工務店様にて保管頂きます。</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカットの構成員と随時打合せを行い、情報の共有を行う。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカットの構成員と随時打合せを行い、情報の共有を行う。	◎												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員に対してアンケート調査を実施し、受給予測に役立てる。	◎												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 生産量日本一の熊本県産い草を用いた畳の使用を推奨する。	○												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室を計画する物件においては、襖・障子の活用を推奨する。	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室を計画する物件においては、襖・障子の活用を推奨する。	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室を計画する物件においては、襖・障子の活用を推奨する。	○												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	・木材加工において発生する端材を、化石資源の代わりとなる「マテリアルやエネルギー」として再利用し、地球温暖化防止並びにエネルギー枯渇問題に貢献する。	○												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
	東日本大震災の復興に資する取組														
	平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 南九州あんしんの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 熊本県、宮崎県、鹿児島県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県等
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 南九州あんしんの家づくりグループ	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0059-0690	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<ul style="list-style-type: none"> ・高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)の目標値と仕様 ① R → 100.1%以上とする。 R0 → 20.1%以上とする。 UA → 0.6以下とする。 ②エコキュートのJIS効率3.0以上とする ③節湯機器を設置する ④高効率エアコンを使用する【LDKのみに設置】 ⑤全ての照明器具に蛍光灯またはLEDを採用する <p>・高度省エネ型(認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅)及び優良建築物型においては、「ゼロ・エネルギー住宅」の仕様を目指す。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。